

**私の街
こまつ**

145号

平成20年8月1日発行

発行/小松市議会 編集/議会だより編集委員会



熱戦が繰り上げられる末広野球場

6月議会



**小松・台北便開設
活用に向けた質問が活発に行われる**

—台北便就航を契機に— 粟津温泉はこれでいいのか

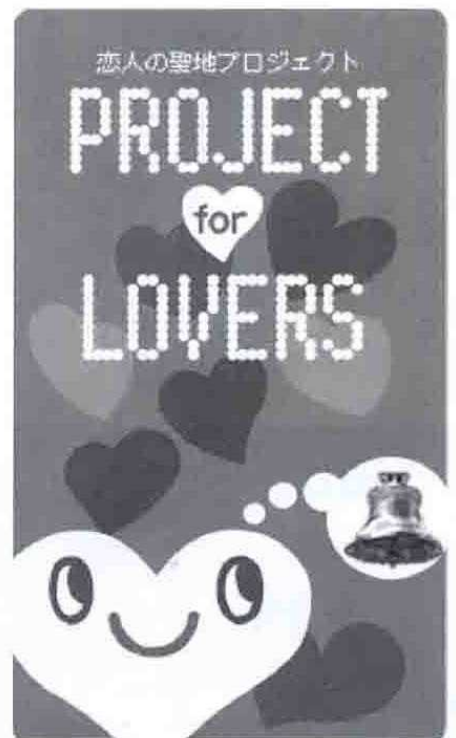
木村厚子 議員



問 「台湾人の料金設定が安い」、「現状の施設面から対応できない」、「北陸三県、県内利用者が多い」、「台湾に誘客を働きかける拠点が無い」、これらは市街地活性化対策特別委員会でご報告されました。

たが、こういうことではないのでしょうか。
台北で行われた誘客ミツションでは、家内を連れて訪れたいとの声もあり、家族連れ、グループ対応は粟津温泉も可能と考えます。
台北便の就航は新しくスタートした産業観光事業と合わせ、小松市の活性化につなぐと期待し、おたすねします。

答 国際定期便が小松市の活性化に活かされているかについては、観光客の相互誘致、地元企業の進出の利便性と相互交流、異文化交流等があり、今後とも、観光協会、物産振興協会、商工会議所等各種団体と協議し、小松の活性化につながるような方策について検討していきたい。
粟津温泉では、若者を対象に新しい粟津を印象づけ、イメージの転換を図ることに集客の増加を目指す「恋人の聖地」キャンペーンを実施している。この「恋人の聖地」キャンペーンの推進とともに国際化に向けて、台湾人旅行者をはじめとした海外からの誘客に対する取り組みも粟津温泉活性化の選択肢の一つとして極めて重要であると考えており、今後とも粘り強く働きかけていきたい。



恋人の聖地キャンペーンで
集客増加を目指す粟津温泉
(デザイン：NPO地域活性化支援センター)